

令和4年7月8日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

No. 292(2022年7月)

■戦前の歌舞伎座筋書をデジタルアーカイブで公開しました

松竹大谷図書館では7月1日より、歌舞伎座の戦前までの筋書(劇場プログラム)について、Web上で閲覧できるデジタルアーカイブを公開いたしました。



左)大正4年7月歌舞伎座筋書表紙 右)大正7年7月歌舞伎座筋書表紙

「芝居番付検索閲覧システム」は、平成26(2014)年度に実施した第3弾クラウドファンディングにより当館所蔵の【芝居番付】(ポスターやチラシにあたる資料)をデジタル化し、公開しているデータベースです。

今回デジタル化した【筋書】、【絵本番付】(劇場プログラムにあたる資料)が加わることで、当館所蔵の歌舞伎座開場当時から戦前までの番付全種類をWebで一覧できるようになり、より充実したデータベースになりました。

当時の配役やあらすじなどをご覧いただけるのはもちろんのこと、化粧品やデパートの広告など、当時の社会や世相を反映した生活文化を知ることができ、眺めるだけでも楽しめる資料です。スマートフォンやパソコンなどお手元からご覧いただけますので、皆様、ぜひご利用ください。

当館では令和2(2020)年度の第9弾クラウドファンディングにて、明治22年に初開場した東京歌舞伎座の戦前までの筋書約1,180冊のデジタル撮影と保存のための資金調達プロジェクトを実施いたしました。成立後からアーカイブ構築等Web公開に向け準備を進めておりましたが、この度、当館HP内のデジタルアーカイブ「芝居番付検索閲覧システム」において公開を開始いたしました。この公開により、明治・大正期より戦前までの歌舞伎座の筋書をWeb上で検索・閲覧できるようになりました。



目次:

戦前の歌舞伎座筋書をデジタルアーカイブで公開しました	1
第92回所蔵資料ミニ展示「映画・芝居に描かれた沖縄」	2
閲覧室で販売中のオリジナル文庫本カバーのラインナップが新しくなりました	2
「中央区まちかど展示館」【夏休みスタンプラリー&クイズ】が始まりました	2
歌舞伎座筋書に【松竹大谷図書館の名品】第7回が掲載されています	2
新着資料案内	3
資料をご寄贈くださった方々	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	3
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
夏期特別整理休館のお知らせ	4
利用案内	4

● 演目名や劇場名、上演年月日などから資料を検索することができます。

● 検索結果画面の見開きページごとのサムネイル画像をクリックすると、表紙から全てのページを拡大して閲覧することができます。

松竹大谷図書館所蔵貴重資料デジタルアーカイブ

「芝居番付検索閲覧システム」

■ URL : https://www.dh-jac.net/db1/ban/search_shochiku.php

※公開後は資料保護のため、原則として当館での資料現物の閲覧はできませんのでご了承ください。



■第92回所蔵資料ミニ展示「映画・芝居に描かれた沖縄」

展示期間：令和4[2022]年7/1～8/12 於 閲覧室

令和4年7-8月の閲覧室展示は「映画・芝居に描かれた沖縄」です。本年は、沖縄が昭和47[1972]年5月15日に本土に復帰してから50年の節目となる年です。激動の歴史をたどってきた沖縄は演劇や映画作品でも、様々なテーマのもとで描かれてきました。今回の展示では、沖縄が舞台となった作品を演劇・映画それぞれのジャンルからとりあげて、台本やスチール写真、プログラムなど計20点の資料を展示します。



【台本】歌舞伎『鎮西八郎英傑譚』

(ちんぜいはちろうえいけつものがたり)

明治17年4月市村座/三世河竹新七(作)

『保元物語』で知られ、琉球王朝の祖になったとの伝説が残る源為朝。その生涯を物語化した滝沢馬琴の読本『椿説弓張月』(文化4年-文化8年)は人気を呼び、浄瑠璃や歌舞伎でも上演された。この台本の表紙に書かれた場名に「首里城内玉改の場」とある。劇聖と讃えられた九世市川團十郎が忠臣毛国鼎、源為朝、阿公(くまざみ)を演じた。

■展示資料一覧■**【演劇】**【台本】歌舞伎『鎮西八郎英傑譚』明治17年4月市村座/『木の上の軍隊』こまつ座 平成28年11月10日-27日紀伊國屋サザンシアター-TAKASHIMAYA 【スチール写真】歌舞伎『通し狂言椿説弓張月』昭和44年11月国立劇場大劇場/新派『琉球の簪』昭和30年2月明治座/『八月十五夜の茶屋』昭和30年8月歌舞伎座 【プログラム】沖縄芝居『嵐花 朝薫と朝敏』昭和63年10月22日-23日那覇東町会館大ホール他/『海の一塵』松竹・劇団文化座提携公演 昭和60年6月7日-9日サンシャイン劇場/『ピカドン・キジムナー』平成13年2月10日-3月1日新国立劇場小劇場/宝塚歌劇『春櫻賦』平成10年4月帝国劇場 **【映画】**【ポスター】『海流』昭和34年 【台本】『ひめゆりの塔』昭和28年 【プログラム】『八月十五夜の茶屋』昭和32年/『沖縄』昭和45年/『ソナチネ』平成5年/『ナビィの恋』平成11年 【スチール写真】『沖縄健児隊』昭和28年/『ゴジラ対メガゴジラ』昭和49年/『男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花』昭和55年/『OKINAWAN BOYS オキナワの少年』昭和58年/『マリリンに逢いたい』昭和63年

※開館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時当館のHP、Facebookの投稿をご確認ください。また、お電話でもご案内いたしますので、ご来館前にお問い合わせ下さい。電話:03-5550-1694(平日:10時～17時)

■閲覧室で販売中のオリジナル文庫本カバーのラインナップが新しくなりました

現在、当館閲覧室にてオリジナル文庫本カバーを販売しておりますが、この度商品ラインナップが変わりました。新たに「金閣寺・風船乗スペンサー」「お囃子・引幕」の組上燈籠絵の文庫本カバーが加わり、既に販売中の「富士の牧狩」「新うすゆき物語(浄瑠璃正本)」「忠臣蔵討入(組上燈籠絵)」とあわせ、計5種類となっております。文庫本カバーは、歌舞伎座場内一階の「お土産処 木挽町」と歌舞伎関連グッズの通販サイト「松竹歌舞伎屋本舗」でもお買い求めになれます。

▽「松竹歌舞伎屋本舗」文具コーナー <https://kabukiyahonpo.com/shop/c/cbungu/>

なお、これまで販売していた「め組のけんくわ」「仙臺萩御殿場」の組上燈籠絵の文庫本カバーは、好評につき当館では販売を終了いたしました(再販未定)。



■「中央区まちかど展示館」【夏休みスタンプラリー&クイズ】が始まりました

当館が参加している「中央区まちかど展示館」の【夏休みスタンプラリー&クイズ】が7月1日より始まりました。昨年から始まったまちかど展示館のクイズですが、今回初めてスタンプラリーとクイズがコラボしました。当館もクイズに初参加しています。各館に掲示されたクイズ問題に答えながら地区別に4個以上のスタンプを集めて応募すると、5問以上の正解者の中から抽選で各館提供の素敵な景品が当たります。当館の景品は、芝居絵ペーパークラフト組上燈籠絵複製版「一谷嫩軍記 組討」と、文庫本カバー2種「富士の牧狩」「お囃子・引幕」です。是非ご参加下さい。詳しくは以下のページをご覧ください。

▽【夏休みスタンプラリー&クイズ】 ページ https://chuoku-machikadotenjikan.jp/stamp rally_summer2022.html



■歌舞伎座筋書に【松竹大谷図書館の名品】第7回が掲載されています

当館スタッフが執筆を担当する歌舞伎座筋書連載【松竹大谷図書館の名品】。7月は、当館所蔵の「歌舞伎海外公演資料」です。

「歌舞伎は旅する大使館」と称される歌舞伎の海外公演は、第1回の昭和3(1928)年ソ連公演から現在まで76回行われ、訪問国は38を数えます。当館には各公演の資料として、公演プログラムやチラシ、ポスター、公演に関する記事や劇評等が掲載された現地の新聞などが保存されており、今回の連載では、公演後に関係者に配られる當祝(あたりいわい)など、公演中に幕内(まくうち)で使用された貴重な資料を写真と共にたくさんご紹介しております。歌舞伎座の七月公演は、筋書の連載記事もぜひご覧ください。



昭和44(1969)年9月訪米公演ニューヨーク公演プログラム、當祝

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系6月演劇公演資料

○ … 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『菅原伝授手習鑑 車引』	○			
	『猪八戒』	○			
	『信康』	○		○	○
	『勢獅子』				
	『ふるかめりかに袖はぬらさじ』	○			
新橋演舞場	『東京喜劇 任侠サーカス キズナたちの挽歌』			○	○
南座	『南座初夏の舞台体験ツアー』				○
松竹座	『AmBitious初単独LIVE 梅雨魂2022』				○
博多座	『橋弁慶』	○			
	『鶯娘』				
	『義経千本桜 すし屋』	○		○	
	『新血屋舗月雨量 魚屋宗五郎』	○			
	『積雪雪閑扉』	○			

◆他社演劇公演資料 (2022年 4月-6月)

(順不同) 『ロビー・ヒーロー』新国立劇場小劇場プログラム/『貴婦人の来訪』新国立劇場小劇場プログラム/劇団競泳水着『グレーな十人の娘』シアタートッププログラム/くじら企画『サラサテの盤』座・高円寺1プログラム/『グリーン・マダー・ケース/ビショップ・マダー・ケース』吉祥寺シアタープログラム/テアトル・エコー『ママごと』テアトルエコープログラム/ロク『ロマンティックコメディ』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/日本劇作家協会プログラム『春夏秋冬』座・高円寺1プログラム/赤堀雅秋プロデュース『ケダモノ』本多劇場プログラム/五反田団『愛に関するいくつかの断片』アトリエヘリコプタープログラム/ゴジゲン『かえりにち』ザ・スズナリプログラム/ヒトハダ『僕は歌う、青空とコーラと君のために』浅草九劇プログラム/イキウメ『関数ドミノ』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/ホエイ『ふすまとぐち』こまばアゴラ劇場プログラム/花組ヌーベル『盟三五大切』下北沢小劇場B1プログラム/日本総合悲劇協会『ドライブイン カリフォルニア』本多劇場プログラム/『メリー・ポピンズ』シアターオーブプログラム/『奇跡の人』東京芸術劇場プレイハウスプログラム/『鶴明会』浅草公会堂プログラム/劇団扉座『神遊(こころがよい)』座・高円寺1プログラム、台本/猿之助と愉快な仲間たち『森の石松』六本木トリコロールシアタープログラム/第85回逍遥祭『波乃久里子×喜多村緑郎 坪内逍遥を読む』早稲田大学小野講堂プログラム/『2022音貞オッペケ祭』高

砂緑地プログラム/春匠プレゼンツ『定本熱海殺人事件』中野テアトルBONBONプログラム/『三世今藤長十郎三十七回忌追善今藤会』国立劇場大劇場プログラム/日本舞踊未来座才(SAI)『日本舞踊銀河鉄道999』国立劇場小劇場プログラム/『お勢、断行』世田谷パブリックシアタープログラム/清水邦夫を偲ぶ…春夏秋冬『楽屋』内幸町ホールプログラム/『みんな我が子』シアタークーンプログラム/『四月は君の嘘』日生劇場プログラム/『千と千尋の神隠し』帝国劇場プログラム/『第166回文楽公演』国立文楽劇場プログラム/『第220回文楽公演』国立劇場小劇場プログラム/『第90回雅楽公演』国立劇場大劇場プログラム/『第201回歌舞伎鑑賞教室』国立劇場大劇場プログラム/『第43回舞踊・邦楽公演』国立劇場小劇場プログラム

◆**映画資料** (順不同) 『BiSH presents PCR is PaiPai CHINCHIN ROCK'N' ROLL』プログラム/『峠 最後のサムライ』台本、プログラム/『映画 ゆるキャン△』プログラム

◆**映画プログラム** (順不同) 『ALIVEHOON アライブフーン』『エリザベス 女王陛下の微笑み』『炎の少女チャリー』『シン・ウルトラマン』『フォーエバー・パージ』『特『刀剣乱舞 花丸』雪月華 雪ノ巻』『トップガン マーヴェリック』『20歳のソウル』『オフィサー・アンド・スパイ』『東京2020オリンピック SIDE:A』『極主夫道ザ・シネマ』『劇場版 からかい上手の高木さん』『鋼の錬金術師 完結編 最後の錬成』『わたしは最悪。』『エルヴィス』

◆**演劇雑誌** (順不同) 『AAC』Vol. 112/『Confetti』2022年 July/『KENSYO』Vol. 125/『SePT倶楽部 information』2022年5月号, 6月号/『omoshii PRESS オモシイ・プレス』Vol. 20/『あぜくら』2022年6月号/『ほうおう』2022年8月号/『テアトロ』2022年7月号/『ラ・アルプ』2022年7月号/『演劇研究』45号/『演劇博物館報』Vol. 118/『喝采』2022年9月特別号/『御園座演劇図書館 Newsletter』Vol. 49, Vol. 50/『早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点news letter』12号/『日本照明家協会誌』2022年6月号/『日本舞踊』74巻7月号/『悲劇喜劇』2022年7月号/『邦楽の友』令和4年7月号/『墨染会 瓦版』30号

◆**映画雑誌** (順不同) 『FLIX』2022年8月号/『NFAJプログラム』No. 37/『SCREEN』2022年8月号/『TVガイド』2022年6/10号, 6/17号, 6/24号, 7/1号, 7/8号/『おとなのデジタルTVナビ』2022年8月号/『キネマ旬報』2022年7月上旬号, 増刊キネマ旬報NEXT Vol. 43/『シナリオ』2022年8月号/『シナリオ教室』2022年7月号/『ドラマ』2022年7月号/『ピクトアップ』2022年8月号/『ムービー・スター』2022年8月号/『日経エンタテインメント!』2022年7月号/『文化通信ジャーナル』2022年7月号

資料をご寄贈くださった方々

(敬称略・順不同/2022年4月-5月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、株式会社OSK日本歌劇団、シナリオ・センター、独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)、無声映画鑑賞会、公益社団法人 企業メセナ協議会、有限会社合同通信社、株式会社日本舞踊社、常磐津保存会、邦楽の友社、キネマ旬報社、京都芸術大学 舞台芸術研究センター、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、埼玉県立近代美術館、国立劇場、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、文学座、園田学園女子大学近松研究所、若林さだ吉、東宝株式会社映像事業部、国立映画アーカイブ、公益財団法人阪急文化財団、アンドレ・バザン研究会、伊藤治子、博多座、こまつ座、大田区立郷土博物館、渋谷光子、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館、樽松大剛、玉川大学教育博物館、京都精華大学講師 浅野久枝、株式会社カモミール社テアトロ編集部、公益社団法人日本照明家協会、劇団昴、株式会社オフィスタカヤ、山口記弘、一般社団法人日本民間放送連盟、横山鶯亭、劇団民藝、シアタークリエ、銀座 博品館劇場、常磐津節保存会 会長 常磐津文字太夫、公益社団法人 国際演劇協会、国立歴史民俗博物館、日本映画テレビプロデューサー協会、人形劇団プーク、(株)近代映画社、日本劇作家協会、公益社団法人日本劇団協議会、BS松竹東急、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ、児童・青少年演劇ジャーナル「げき」編集委員会、銀座百店会、おとなのデジタルTVナビ編集部、安孫子正、(一社)京都映画芸術文化研究所(おもちゃ映画ミュージアム)、御園座演劇図書館、藤間恵磨、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、劇団青年座、石川一義、帝国劇場、公益財団法人日本近代文学館、協同組合 日本映画撮影監督協会、日本劇場技術者連盟、秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場、一般社団法人伝統歌舞伎保存会、山名美枝子、有田嘉伸、川崎哲男

どうもありがとうございました

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和4[2022]年6月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせていただきます。

《現在のご利用について》(※2022年6月6日改定)

- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日10時～17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際は引き続きマスクの着用と手指の消毒をお願い致します。

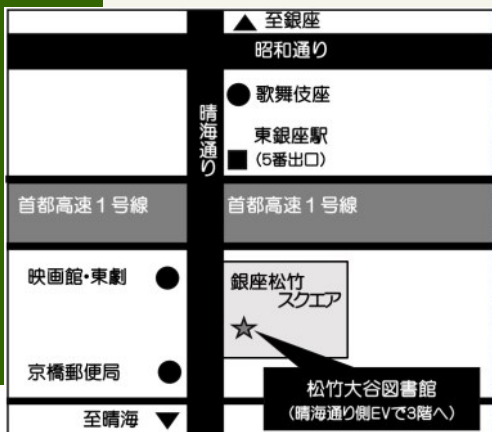
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(〇月〇日〇時より〇時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>

令和4年8月13日(土)より
夏期特別整理休館のお知らせ
8月28日(日)まで
8月29日(月)より開館いたします



●利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ

[入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担)但し、コピー不可の資料もあります

●資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

●交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
公式Facebook● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>